



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

報道関係資料

2003 年 7 月

神奈川県立近代美術館

彫刻家 堀内正和の世界展 Masakazu Horiuchi

- 会期 : 2003 年 11 月 15 日 (土) - 2004 年 2 月 8 日 (日)
- 休館日 : 月曜日 (祝日の場合は開館)、祝日の翌日
- 開館時間 : 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (ただし、入館は 4 時 30 分まで)
- 入館料 : 一般 800 円 (700 円)
20 歳未満・学生 650 円 (550 円)
65 歳以上 400 円
() 内は 20 名以上の団体料金です。
高校生以下の方、障害者の方は無料で入館できます。
- 会場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉

主催 : 神奈川県立近代美術館 / 美術館連絡協議会 / 読売新聞東京本社

ご掲載いただく際のお客様お問合せ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53

tel. 0467-22-5000 / fax. 0467-23-2464

URL: <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/index.html>

- 巡回予定 ●京都国立近代美術館 2004 年 3 月 13 日 (土) - 4 月 18 日 (日)
- 茨城県近代美術館 2004 年 6 月 1 日 (火) - 7 月 20 日 (火・祝)
- 芸術の森美術館 2004 年 9 月 4 日 (土) - 10 月 17 日 (日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉

詳細は鎌倉館・広報担当(碓井・久保寺)まで
tel. 0467-22-5000 / fax. 0467-23-2464
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53

URL: <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/index.html>

彫刻家 堀内正和の世界展

戦後日本の抽象彫刻界を代表する作家の一人である堀内正和を紹介する展覧会を開催いたします。

堀内正和は 1911(明治 44)年に生まれ、東京高等工芸学校(現・千葉大学)を中退した後、番衆技塾で藤川勇造に師事しました。そのことによって、堀内の彫刻家としての出発は、具象的な性格をもつものでした。また、堀内は彫刻の造形思考について熱心に究明するとともに、戦争中、思想的な統制下においても自由主義的な生き方を貫きました。

戦後、戦争中に思索した結果を表明する数々の実験的な制作を試み、作品は抽象化し、発注芸術の方向に展開しました。同時に、人間味にあふれた発想からユーモアとエスプリに富んだ多数の興味深い作品を生みました。発表当時から反響は大きく、国内外の展覧会で受賞を重ねました。

また、教育者としても優れ、1950年に京都市立美術専門学校に奉職して以来、74年まで、京都市立美術大学、同芸術大学で後進の指導にあたりました。その教えを受けた人たちからは、今日高い評価を受けている作家たちが輩出しています。

本展は初期から晩年に至る堀内の代表作とともに、その合理的な思考＝知の作業と人間的な味わい＝ユーモアとエスプリが不思議なかたちで融合し、それが作品をとおして実現(造形化)される、その制作の過程を示す多数のペーパー・スカルプチャーやスケッチ類を展示いたします。

本展を機に、現代彫刻に関する興味を鑑賞者の多くに持っていただけることを希望すると同時に、この展覧会が、単に彫刻家としてだけではなく、人間存在のさまざまな疑問や不安などを追求する「知的遊戯者」としての堀内正和の一面を見せることになると考えております。

堀内正和略歴

- 1911 年 京都に生まれる。
- 1928 年 東京高等工芸学校彫刻部に入学。
- 1929 年 第 16 回二科展に入選。東京高等工芸学校を中退し、番衆技塾で藤川勇造に学ぶ。
- 1939 年 この頃 アテネ・フランセでフランス語、ラテン語、ギリシア語を学ぶ。
- 1950 年 京都市立美術学校（現・京都市立芸術大学）教授となる。
- 1957 年 第 4 回サンパウロ・ビエンナーレに出品。
- 1963 年 《海の風》で第 6 回高村光太郎賞を受賞。
神奈川県立近代美術館で彫刻展を開催。
- 1970 年 第 2 回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で神奈川県立近代美術館賞を受賞。
- 1974 年 京都市立芸術大学を退職。
- 1978 年 神奈川県民ギャラリーで個展を開催。
- 1980 年 東京国立近代美術館で「山口長男 堀内正和展」が開催される。
- 1986 年 渋谷区立松涛美術館で個展。
- 2001 年 東京にて没。（90 歳）



アトリエ風景

展示構成

- 1) 初期から晩年までのそれぞれの時期の特色をあらわす作品約 70 点で構成
- 2) 資料展示、各地の野外彫刻の写真および模型
- 3) ペーパー・スカルプチャーおよびデッサン

おもな出品作品

《面と線による構成》1955 年 鉄 京都国立近代美術館蔵

《平面SOS》1961 年 鉄 神奈川県立近代美術館蔵

《表裏相入円錐》1961 年 ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵

《D 氏の骨抜きサイコロ》1966 年 石膏 神奈川県立近代美術館蔵

《エヴァからもらった大きなリンゴ》1966 年 ブロンズ 京都国立近代美術館蔵

《ウインクする MIMI ちゃん》1970 年 鉄、鏡 神奈川県立近代美術館蔵

《円筒をななめに通りぬけるもうひとつの円筒》1970 年 ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵

《ななめの円錐をななめに通りぬける円筒》1971 年 強化プラスチック 神奈川県立近代美術館蔵

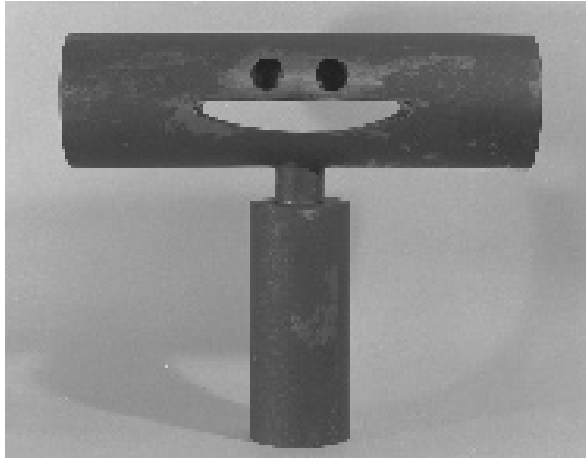
《半分おちそう》1973 年 ブロンズ 神奈川県立近代美術館蔵



アトリエ風景

Press Release


The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館



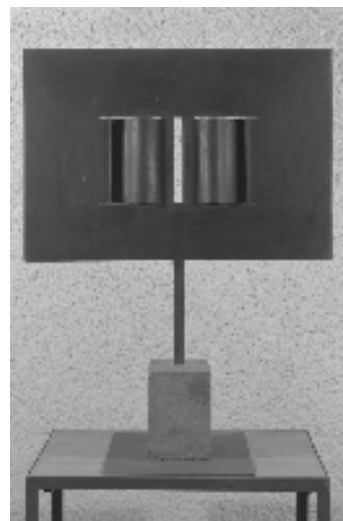
《ウインクする MIMI ちゃん》
1970 年 鉄、鏡
神奈川県立近代美術館蔵



《D 氏の骨抜きサイコロ》
1966 年 石膏
神奈川県立近代美術館蔵



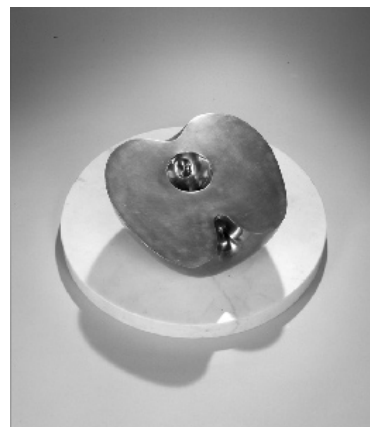
《表裏相入円錐》
1961 年 ブロンズ
神奈川県立近代美術館蔵



《平面SOS》
1961 年 鉄
神奈川県立近代美術館蔵



《面と線による構成》
1955 年 鉄
京都国立近代美術館蔵



《エヴァからもらった大きなリンゴ》
1966 年 ブロンズ
京都国立近代美術館蔵